

令和元年度 第1回西区区政会議 会議録

1. 開催日時 令和元年6月17日（月） 19時00分から21時00分まで

2. 開催場所 西区民センター1階ホール

3. 出席者の氏名

犬伏 猛人（委員）、島田 妙子（委員）、井出 光一（委員）、森 雅美（委員）、
森口 勉（委員）、吉田 登志子（委員）、西村 恭司（委員）、中島 恵子（委員）、
田深 欣寛（委員）、土山 美重子（委員）、阿部 信行（委員）、
松本 良子（委員）、塚本 哲三（委員）、山下 和永（委員）、中治 貴代志（副
議長）、唐木 南智子（委員）、近藤 禎人（委員）、松栄 克子（委員）、
仁熊 良一（委員）、高瀬 万里子（委員）、百 昇之（委員）、足立 敦子（委員）、
柴橋 伸恵（委員）、玉井 慶子（委員）、檜谷 祐里（委員）、水野 恵子
（委員）、水内 俊雄（議長）

岸本 孝之（西区長）、糸田川 勝行（西区副区長）、岩崎 恵久（西区総務課
長）、森本 恵二（西区事業調整担当課長）、小川 哲也（西区事業調整担当課長
代理）、江原 勝弘（西区教育担当課長）、川野 昭彦（西区地域支援課長）、
谷本 徳子（西区きずなづくり課長）、辻岡 敏蔵（西区窓口サービス課長）、
河合 初江（西区保健福祉課長）、松谷 康男（西区子育て支援担当課長）、
樫本 栄治（西区生活支援担当課長）

4. 議題

- ・平成30年度西区運営方針の実績・評価について
- ・情報発信について

5. 報告事項

- ・平成30年度第2回西区教育会議の要旨について
- ・その他

6. 議事内容

(森本事業調整担当課長)

それでは皆様、定刻になりましたので、ただいまから令和元年度第1回西区区政会議を開催いたします。本日は、お忙しい中ご参集賜りまして、どうもありがとうございます。

私は進行を担当いたします西区役所事業調整担当課長、森本でございます。よろしくをお願いいたします。

着座させていただきます。

それでは、まず本日の出席状況でございます。

山本委員、塚原委員、石川委員、大森委員の4名から所用等により欠席される旨、ご連絡をいただいております。

なお、まだ若干お着きでない委員もいらっしゃいますが、現在、定数33人の2分の1以上出席されておりますことから、本会は成立していることを申し上げます。

議事に入ります前にお願いがございます。区政会議は公開が原則となっております。議事録作成のため録音をさせていただきます。また、記録用として、職員がカメラ撮影を行います。

また、本日はお忙しいところ、地域において日々さまざまにご尽力いただいております西区地域振興会、笹倉会長、西区社会福祉協議会、笹野井会長にお越しをいただいております。

後ほど、ご助言等頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、岸本区長からご挨拶申し上げます。

(岸本区長)

皆さん、こんばんは。区長の岸本でございます。

いつも区政にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

昨日の早朝から今朝にかけて吹田の事件の関係ですね、大変皆さん、ご不安があったかと思いますが、今日の朝、何とか犯人確保に至ったということでございまして、区役所の方も実はきのう職員が出勤して連絡体制をとっていたんですけども、我々も一応これで安心をしているところでございます。

本日は、元号が変わりまして初めての区政会議ということでございます。

本日の議題ですけれども、まず1点目、これは平成30年度の取り組みの実績と評価ということで、これはビジョンに基づきましてコミュニティの振興、あるいは子育て環境の充実、2本柱でいろいろ取り組みを行ってきておりますけれども、この成果についてご報告を申しあげて、皆さん方のご意見をお伺いしたいと思っております。

それからもう一点、区役所から情報発信についてのご議論をちょっといただきたいと思っております。これ昨年度、区民モニターのアンケートを実施いたしまして、情報発信について問い合わせをしたところ、必要な情報が十分発信されていないと考える区民の方がまだ3分の2に迫るという厳しい評価も頂戴しているところでございまして、これは当然このご意見を踏まえて、改善を図っていく必要があるわけでございまして、皆さん方のご意見を是非お聞かせいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

いよいよサミットの方が迫ってまいりまして、皆さん方、本当にいろいろと具体的な生活への支障等々、ご迷惑をおかけしているところではございますが、何とぞご容赦をいただきたいというふうに思っております。どうかよろしくお願いいたします。

それでは、本日はどうかよろしくお願い申し上げます。

(森本事業調整担当課長)

それでは、本日の資料を確認させていただきます。

お手元次第の下に各資料の番号のついた附箋をつけた資料でございます。

まず1つ目、資料1が「平成30年度西区運営方針における取り組み内容について」でございます。よろしゅうございますでしょうか。こちらは、区政会議関係資料とし

てお届けいたしました「平成 30 年度運営方針」の様式 1・2 の骨子をまとめた概要版でございます。運営方針そのものは非常に細かい記載となっておりますので、後ほどの説明は、この概要版でさせていただきたいと存じます。

次に資料の 2 番目、これが「委員評価シート 平成 30 年度西区運営方針の取組み達成状況と今後の取組み方針」でございます。こちらは、運営方針に掲げた取り組みに対する区政会議委員の評価を記載いただくシートでございます。評価の参照としていただくために区役所としてあらかじめ定めた数値目標の達成状況をお示ししたものでございます。

次に資料 3 でございます。これが本日ご議論を頂戴したい「情報発信について」に係る資料でございます。西区の情報発信に係るこれまでの取り組みや状況を踏まえ、本日皆様からご意見を頂戴したい事項等についてまとめたものでございます。これも後ほど説明をさせていただきます。

次に資料の 4 番目が平成 30 年度第 2 回西区教育会議資料、議事概要でございます。これにつきましては、後ほど教育担当課長からご説明を申し上げます。

以上が会議に先立って郵送をさせていただいた資料でございます。これらに加えて、本日追加した資料が 1 点、これ資料 5 がございます。

これは、事前に区政会議委員の皆様からお寄せいただいた意見に対する区役所の考え方をまとめたものでございます。後ほど、その概要をご紹介します。

これらの資料とは別にクリアファイルに入れたアンケート調査等がございます。これにつきましては、最後にお願いがございます。

資料は以上でございます。全てお手元にそろっておりますでしょうか。皆様よろしゅうございますでしょうか。

それでは、ここからは水内議長に進行をお願いいたします。

(水内議長)

こんばんは、水内です。いつもお世話になっております。本日も区政会議の進行に

ご協力賜りたいと思っております。

早速この区政会議、いつものこの新年度に入ったときに前年度の振り返りを行うという形式となっております。

今年度もそれに従いまして、平成 30 年度の西区の運営方針の実績と評価及び区政会議委員の意見について、これはまず区役所の方から説明をお願いいたします。

では、よろしくお願いいたします。

(森本事業調整担当課長)

それでは、私の方から平成 30 年度の西区運営方針の取組み内容と自己評価につきまして、先ほどご説明いたしました資料 1、資料 2、それに加えて、事前に区政会議委員から頂戴いたしました意見については、資料 5 によりご説明をさせていただきます。10 分ほどお時間を頂戴いたします。

まず資料 1 の方をご覧くださいますようお願いをいたします。皆さんよろしゅうございますか。

これは西区運営方針に掲げる大きな 4 つの経営課題ごとに 30 年度に実施いたしました、個別の取組みをまとめたものでございます。既にご覧いただいているかとは存じますが、簡単におさらいをさせていただきたいと存じます。

まず、資料 1 の 1 ページ、こちらをご覧ください。経営課題 1 「地域コミュニティの活性化」についてでございます。

その 1 点目「人と人のつながりづくり」といたしまして、防災・子育てなど重要な取組みが自治会等身近な地域の活動主体によって担われていることを周知する広報を実施いたしました。

2 点目「地域活動の活性化」といたしまして、中間支援組織、いわゆる「まちセン」でございますが、これを活用した自治会等への活動支援を、またその下 3 点目「多様な活動主体とのネットワークづくり」といたしまして、鞆公園バラ園コンサートや、にし恋マルシェなど、「公園」を活用した取組みへの支援、また区内の小学

生を対象とした、ものづくり体験・職場見学等を実施いたしました。

続いておめくりをいただきまして、2 ページ、3 ページ、こちらをご覧ください。

経営課題 2 「安全・安心で快適なまちづくり」についてでございます。

その 1 点目「災害に強いまちづくり」といたしまして、自主防災組織による防災訓練実施に向けての支援、マンションや企業等への防災出前講座、また小中学校での防災講話、防災授業を実施いたしました。

2 点目「安全で快適な居住環境づくり」につきましては、警察等と連携いたしまして、自転車盗難対策に係る啓発活動や落書き消去活動を支援するとともに、青色パトロール活動・小学校の登下校時の見守り活動、交通安全に係る啓発活動等を実施いたしました。

3 点目「誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちづくり」といたしましては、見守りコーディネーターによる訪問、相談事業、民生委員をはじめ、地域団体の皆さんによる要援護者の見守り活動へのサポートを行いました。加えて、区民の主体的活動である子育て層の交流の場「てをつなごう!」、高齢者・子ども・障がい者の交流の場「そよかぜまつり」の開催を支援いたしました。さらに 3 ページでございますが、医療・介護関係者で速やかな情報共有を行えることを目的に、区内医療関係団体と介護関係団体による連携推進会議の開催等、ネットワークの充実に取り組みました。

続いて、4 ページをご覧ください。経営課題の 3 番「安心して子育てや教育ができる環境づくり」についてでございます。

その 1 点目「安心して子育てができる環境づくり」についてでございますが、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談体制の一環といたしまして、心理士などの専門職を配置いたしました。また、児童虐待の早期発見につなげるため、幼稚園等就学前機関をそれぞれ年 2 回訪問し、情報共有ができる関係づくりと啓発活動に努めました。

2 点目「学校教育支援」といたしまして、小中学校長との意見交換会、学校協議会

へのモニタリング、西区教育会議、同部会、これラウンドテーブルというものでございますが、等を実施しております。人材育成としては、ネイティブスピーカー等による英語講座、学習塾等を活用した課外授業による学力の向上に加え、体力・運動能力向上のため、学校の体育科へ専門家を派遣する実践的な授業、教員を対象とした実技指導研修を実施しております。また、発達支援を要する児童生徒に対しましてはサポーターを配置し、いじめ、不登校、発達障がいなどの諸課題については、専門性を有するスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、対応してございます。

最後、5、6ページをご覧ください。経営課題4「区長の権限・責任の拡充と区民参画のさらなる推進」に係る取り組みでございます。

その1点目「区民の声が反映される仕組みづくり」といたしまして、区政会議でいただきました意見を平成31年度の運営方針、予算、施策等に生かすとともに、ホームページ等へ掲載いたしました。また、マンションコミュニティに係るニーズ調査や、区民モニターアンケート、さらに「区長ぶらっと訪問」等を実施し、多様な意見やニーズの把握に努めました。

2点目「さらなる区民サービスの向上」といたしまして、民間機関を活用した職員の能力向上のための研修の実施や自律的な職場改善活動に取り組みました。SNSを活用した広報についても、LINE友達登録の推進を図りました。

3点目「効率的な区政運営の推進」についてでございますが、これまでの個人情報漏えい事故や不適切な事務処理事案を振り返り、課題を検討して再発防止に取り組みしました。

以上、資料1に沿い、30年度に実施した主な取り組みについて簡単にご説明を申しあげました。

続きまして、資料2「委員評価シート」についてご説明を申しあげます。資料の方をご覧くださいますようお願い申しあげます。当該シートは、今ご説明申しあげまし

た平成 30 年度の区役所の取り組み状況につきまして、戦略ごとに区政会議委員の評価を頂戴するものでございます。

区政会議委員に評価いただくに当たっての参考といたしまして、区役所としてあらかじめ設定しておりました目標数値が達成できたのか否かを、マスコットキャラクター、にっしーの表情を用いてお示しをしております。

30 年度におきましては、戦略別の取り組みで評価した場合、おおむね当初設定いたしました目標値は達成しておりますが、シートの裏面、戦略 4－3、こちらをご覧くださいでしょうか。こちらの「効率的な区行政の推進」についてのみ目標未達成となっております。これは不適切な事務処理事案の件数を 7 件以下に抑える目標を掲げていたところ、書類の送付先を誤って送付する、いわゆる誤送付、事務処理の遅延や生活保護費の支給誤りなど、いずれも職員の不注意や理解不足に起因するものが 10 件発生しております。31 年度は、目標として掲げる 6 件以内を達成できるよう、引き続き所属内で不適切事例の情報共有を行い、他区の取り組み、改善事例なども取り入れつつ、不適切事務を発生させないよう職員一丸となって取り組んでまいります。

なお、区の情報発信については、冒頭区長からもございましたが、区民モニターアンケートにおきまして、「区役所から情報が届いていると感じる区民の割合」が 24 区で最下位という非常に厳しい評価を頂戴しております。こういった状況を改善すべく、区役所の情報発信についても、本日後ほど区政会議委員の皆様の検討をお願いしております。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

最後に区政会議委員の皆様からのご意見でございます。これにつきましては資料 5、こちらをご覧くださいますようお願いいたします。よろしゅうございますか。

この資料の左端に記載の番号順にご説明をいたします。まず 1 番は地域防災訓練に関する区役所の広報についてのご指摘でございます。このご指摘を踏まえまして、各地域の防災訓練の告知について、地域と連携して実施していく旨、回答としてございます。

次に 2 番から 6 番でございますが、これらはいずれも区役所の広報、情報発信に係るご意見でございます。情報発信につきましては、この後ご議論いただくことにもなっておりますので、ここでは割愛をさせていただきます。

資料 5 の裏面、7 から 10 番でございますが、これは教育会議等に係るご質問、ご意見でございます。回答は記載のとおりでございます。恐縮ですが、お時間の関係もございまして、説明は割愛をさせていただきます。

私の説明は以上でございます。

(水内議長)

ただいま平成 30 年度の西区運営方針の実績と評価及び区政委員の意見について、ご説明をいただきました。自己評価につきましては、資料 2 のところで一応数字をもとに達成、目標値がクリアされてるかということをご説明され、1 点のみ目標未達成ということでございまして、このご説明からして一応おおむね達成できたということでございますが、この辺を忌憚なきご意見で、今回ちょっと議論させていただきたいというふうに思います。

では、これにつきましてご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。

何かございますでしょうか。ちょっと口火を切るといふあれではないですけども、資料 2 の目標達成状況の資料でござる中で、戦略の 3、経営課題 3 におきまして、学校教育支援という戦略 3－2 というのがございます。これ目標値が 30% 以上で実績が 95.2% と、頭抜けて高いんですけども、逆に言うたらこの 30% 以上というのはどういう根拠でこれ出されているのか、ちょっとすみません、毎年見てる数字のものですけども、もしご説明いただければと思います。

(江原教育担当課長)

これ 30% 以上というのは、まず初めての数字を掲げました。

(水内議長)

そうだったんですか。

(江原教育担当課長)

24 区共通してこういうのを立てようということで、この数字にしたんですけれども、ほかの区も含めて目標数値を非常に上回っておりますので、確かにこの数値目標がよかったのかどうかというのは、確かに議論にはなっております。今後、数値目標を設定するときは検討していかなければならないと考えております。

(水内議長)

ということは、私は見落としてたというのではなく、初めて出たということですか、わかりました。確か私はちょっとこれを初めて見たなと思ってましたので。

そういうことを含めまして、この数字についてちょっとこだわっていただいても結構かなと思います。いかがでしょうか。何だ、この数字ということもあるかと思しますので、どういう根拠でこの数字があるのかなとかそういうのも。

パーセントの根拠になるのに区民アンケートというのがよく活用されているんですけども、これにつきましては、皆さんご回答されたことはあるような方、どれぐらいおられますでしょうか。無作為抽出で多分選ばれていると思うんですけども、ここが大分かなり根拠なんですけど、この辺はいかがでしょうか。

すみません。この区民アンケートってどんな形でどのように、急にあれですか、ポストか何かに入ってくるというようなものなんですか。ちょっとお聞きしたいんですけども。

(谷本きずなづくり課長)

きずなづくり課、谷本でございます。区民モニターアンケートにつきましては、区政の運営につきまして区民の皆様から幅広く意見を聴取するためということで、住民基本台帳から 20 歳以上の区民のうち無作為で抽出しました 2,000 名を対象として実施をしております。また、区独自で行っている区民モニターアンケートがございまして、その場合は 1,500 名を対象として実施しております。アンケートにつきましては、気軽にアンケートに参加していただけて、率直な意見を書いていただけるようにという

ことで、回答については無記名方式としております。

先ほど申しあげたように無作為に送らせていただいておりますので、突然送られてくるというような形にはなっております。

(水内議長)

突然ですね。後ほどの情報伝達のことにつきましても、この区民モニターアンケートがベースとしてされておりますので、このアンケート自体の回答者、誰なんだろうなということで議論にもなろうかと思いますが、この辺はどうなんでしょうか。回答率とかその辺の特徴をちょっと何か情報をいただけますでしょうか。

(谷本きずなづくり課長)

前回の区民モニターアンケートでは回答率が29.6%でございました。全市平均としましては、32.5%ということで、回答率も平均より若干下回っております。

(水内議長)

というようなアンケートをもとに評価基準の幾つかの項目については、それに影響しているということでございます。

いかがですか、どうぞ。

(森口委員)

明治地域の森口です。今モニターのご説明ありましたけども、そのモニターアンケートというのは、どういう形でとっておられるのかということなんですけど、例えばその1年間、あなた、モニターになってくださいというような形で、期首にお願いをして、その後、いろんな事業については、その方にもお知らせをして、そういう形で認識していただいた上でこの評価をいただいているのか、あるいはその評価をくださいだけのアンケートになっているのか、その辺はどういう形になっているんでしょうか。

(谷本きずなづくり課長)

現在はモニターアンケートという名前を使っておりますが、実際には、モニター登

録とかはしていただいておりますので、先ほど申しましたように無作為に住民基本台帳の中から抽出をしておりますので、事業についてのご説明とかそういったことはなしで送らせていただいたアンケートについて回答をいただいているという形でございます。

(森口委員)

そうすると、アンケート自体について、実際モニターとして送られてきた人はどこまで理解してるかという、わかりませんよね、その内容自体もね。だからやっぱり普通モニターというのは、ある程度無作為で選んだ方の中で、とにかく1年間何かこの活動について、区のいろんな行事に注目をしてもらえるような形をとっておいて、それで実際評価、参加されたかとか参加してないとか、そういう評価をいただくようなことが通常モニターという形ではないかと思うんですよ。ですから、モニターの方が事業、イベントとかそういうものについて、ほとんど知らないということ自体が実はおかしいので、モニターというのはそういうことを知ってもらった上で、どういう評価を得たかということでないとい非常に参考にならないと制度、仕組みじゃないと思ってるんですけどね。

(水内議長)

これはどういたしましょうか。お答えというか、もうちょっとご意見いただいて、なかなかお答えしにくいかもしれませんが、後の情報の議論するときもこの辺が結構気になるところでございますので、もうちょっとその辺いろんなご意見をいただければなと思いますが、西村委員は別のあれでしたですか。関連するようでしたら、どうぞお願いします。

(西村委員)

ちょっと確認なんですけど、モニターアンケートで例えば私に送ってこられましたと、それに対して本人は、じゃあ1年間モニターに登録しますという意思表示をするんですかね。それとも、もう送りっ放しで、ご本人は参加する意思があるのかないの

かというのはわからない、区役所では確認にしないままでスタートされるのか。

それともう一つ、もし仮にそういう回答があって、あるいは回答が全くない人がいた場合に追加でもうちょっと回収ができるような取り組みをされたのかどうかもあわせて、ちょっと教えていただけたらと思うんですけれども。

(谷本きずなづくり課長)

モニターアンケートという名前にはなっておるんですけれども、現在は登録制という形にはなっておりませんので、その都度その都度、無作為に抽出された2,000名または1,500名の方にアンケートをお送りして回答があるかないかという状況でございます。それから回答がなかった方について、再度アンケートをとるということはやっておりません。

(西村委員)

すみません。確認なんですけど、モニターアンケートは1年間ではなくて、その案件ごとに無作為に抽出して送っていったらという。

(谷本きずなづくり課長)

はい、そうでございます。

(水内議長)

この辺、またご議論いただくところになりますので、これ大阪市全体でやっていることでございますので、その辺も含めていろいろとわからんことあったら一遍聞くのもいい機会かなと思っております。

これに関連しまして、今日のこういう形でグループディスカッションをするネタ振りということで先ほどもご紹介ありました、要するに区民の広報について、行き届いていないという意見が24区内トップだったということでございますので、この情報発信について、ちょっと区役所の方からご説明お願いいたしたいと思います。

(西村委員)

その前に先ほど私が質問して、すみません。ちょっと私がモニターアンケートと別

の意見をちょっと言いたかったのだ。

(水内議長)

そうですか。そしたらどうぞ、ついでにお願いします。

(西村委員)

このちょっと実績評価と異なるかもしれませんが、改めて見まして経営課題2の戦略2-1「災害に強いまちづくり」、これ正直申しあげまして、目標の設定自身に問題ありやと思うんです。まず絶対、14の地域、こういう自主防災組織による訓練をしない連合はまずないと思いますので、はっきり言えば100%できることを目標に掲げられたということでもありますので、その辺は今後課題としてもう少しどう言うんですかね、達成できるかできないかというふうな目標設定をしていただいた方がよいのではないかというふうに感じました。

(川野地域支援課長)

地域支援課長の川野です。いつもありがとうございます。

西村委員の方からご質問がございました。確かに14地域で訓練をするというのは当然でございます。なかなかその防災の取り組みで数値的にあらわすことができなくて本当に申し訳ないんですけども、何を目標やということであれば、地域が今年度やった訓練が次年度もう一つランクの上がった訓練というような指標も、もし作れるようであればそういう形で我々も何ていうんですか、カルテ式な方向で作っていききたいなというふうには思っております。

今、西村委員からご質問がありましたので、また改めて検討しながら目標数値として、今後やっていきたいと思っております。ありがとうございます。

(西村委員)

ふと思ったんですけども、例えばこの防災訓練に参加する人数の増加率いうのも一つの指標にしていただけるんじゃないかなと、去年は例えば20人集まりました、今年はそのより上回るような人たちにご参加いただけるような形を目標にされるのも一

つではないかと思います。ちょっと私の意見です。

(水内議長)

そうですね。とれるデータは年度毎にずっと継続してとっていくのであれば、今後そういう形でご報告いただくということでやっていけば、大変わかりやすい指標になるんじゃないかなと思いますが、ありがとうございました。

ちょっとすみません。私もちょっと一点お聞きしたいんですけども教育関係ですが、経営課題の4ページのところに、戦略3-2の「学校教育支援」、この下にスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーを設置しというところで、この相談件数の数が多いのか少ないのか、深刻なのかそうでないのか、ちょっとこの辺の数がまあまあそこそこ多いと思うんですけども、ささいなことなのか、それとも結構しんどいのか。全体の評価では非常に行き届いた教育になっているということですが、ちょっとこの辺、情報いただければ幸いです。

(松谷子育て支援担当課長)

子育て支援課の課長、松谷です。よろしくお願いいたします。

スクールソーシャルワーカーの相談件数は昨年に比べましたら200件ほど増えているんですけども、3中学校とそれぞれの小学校、8小学校ということなんですけど、スクールソーシャルワーカーがその分学校との連携が密に2年目でなってきたというのがありますので、それで件数が増えていってるということになってるんで、その事象自体がとりわけひどくなってるというようなことではないというふうに考えております。

(水内議長)

不登校とかその辺で深刻な問題が発生しているということは、この数字からでは、そこまで考えなくてもいいということでしょうか。

(松谷子育て支援担当課長)

ひどい虐待とかそういうような事案とかそういうことではなくて、やっぱり不登校

とか親との関わりとか、そういうようなところ辺も調整して相談させていただいてる
というようなことでございます。

(水内議長)

ありがとうございました。

では、ちょっと情報発信の件につきまして、ご説明いただきたいと思います。それ
をもとにまたグループでディスカッションしていただくことになりますので、よろし
くお願いいたします。

(森本事業調整担当課長)

それでは、お手元の資料、附箋 3 と打ってある資料、資料 3 に沿ってご説明を申し
あげます。恐れ入ります、資料 3 の方をもう一度ご覧いただきますようお願いをい
たします。よろしゅうございますか。

まず今回、区役所の情報発信についてご議論いただきたい背景でございますが、ち
ょっとくどくなりますけども、その資料 3 の 1 に記載のとおり平成 30 年度区民モニタ
ーアンケートにおきまして、区のさまざまな取り組み（施策・事業・イベントなど）
に関する情報につきまして、区役所から届いていると感じる区民の割合、これが平成
30 年度は 35.3%、24 区の平均が 49.3%でございますが、24 区中最下位となったことが
ございます。

区役所といたしましては、これまでもその資料の 2 に記載のとおり、ホームページ
による情報発信や広報紙の発行に加えまして、LINE や Facebook といった電子媒体で
の情報発信にも注力してきたというつもりはございました。しかし、結果を真摯に捉
え、原因の究明、分析及びそれに基づく対策を講じてまいりたいというふうに考えて
おるところでございます。その資料の 2 に「広報紙への QR コード掲載による連携」
と記載しておりますが、これにつきましては、後ほどグループ討議の際に区役所の各
課長から実演をさせていただきたいと存じます。

ちなみに、今回のアンケートにおける年齢別の評価は、その 3 にお示しするとおり

でございます。一番下の欄でございますけども、これで見ると限り若年世代に肯定的回答の割合が少ない状況となっておりますが、それがそもそも行政情報に対するニーズが少ないからなのか、あるいは情報の内容や発信方法に不満があるのかというのは、この当該アンケート結果のみでは不明でございます。

社会情勢や今般区政会議委員の皆様から頂戴したご意見を拝見いたしますと、やはりスマートフォンなどの電子媒体による情報収集が一般的になりつつあること、特に若年世代にその傾向が強いと考えられることから、区役所としても電子媒体に向けた情報発信の取り組みが不足していたのではと考えるところでございます。

今後の対応といたしましては、本日のご議論に加えまして、資料3の裏面の4に記載のとおり、さらに詳細なアンケートの方を実施の上、分析を行い、区の情報発信のあり方について対策をまとめてまいりたいというふうに考えてございます。

また、電子媒体による情報発信の強化は必須と考えておりますが、その第一歩といたしまして、既に実施しているLINE、Facebook、Twitterによる広報に関しまして、それぞれが持つ機能、例えば、LINEは登録者に自動的に情報発信されますが、FacebookとかTwitterは自ら情報を取りに行かないと情報の取得ができないといったような特性がございますので、こういった特性を生かした使い方を進めていけるような検討を進めてまいりたいということを考えてございます。

そういった取り組みを進めるに当たりまして、最後5に記載のとおり、区政会議委員の皆様から、現在の区役所の情報発信に係る評価・感想、紙媒体とデジタル媒体との連携について、区役所に望む情報発信の内容、方法といったことについてご意見を頂戴したいということに加えまして、先ほどご議論ございましたけども、例えばそのアンケートの仕方によっても、アンケートの受け手の認識ということも考慮しているのかどうかといったご質問ございましたので、広報そのものではなくて、そのアンケートのとり方みたいなことについても、もしご意見があるようであれば、ご意見頂戴できれば非常にありがたいというふうに考えてございます。どうぞよろしくお願いを

いたします。

以上でございます。

(水内議長)

ということで、ご議論いただきたいということでグループのディスカッションに移らせていただきたいというふうに思います。これどう仕切られるか、いつも課長さんがまた入っていただけるかと思しますので、その辺仕切っていただいて、またご意見も課長さんの方でおまとめいただくということでございますので、忌憚なきご意見をいただきたいというふうに思います。

この区民モニターアンケートの回答率そのものが、そもそも先ほどもご紹介いただきましたが、29.6%となっており、今のお手元で年齢別のパーセントが出ております。一つ注視していただきたいのは、ちょっとこれ男女別で欲しかったなという感じはしてるんですけども、私がちょっと西区さんにお聞きしたところ、男性の肯定的意見の評価が31.7%、女性が37.3%となっておりますので、若干女性の方が高く出ております。西区の昨今の特徴で申しますと、30歳から49歳の女性の人口が非常に増加しているというところからすると、一つのターゲット層というのは30代から49というところにどう情報が届くのか、あるいは必要とするのか、それともその他の情報でもう十分であるという、その辺のイメージ感で、これが単身女性なのか家族を持つ女性なのか、お母さん、お父さんと住む女性なのかというあたりはちょっとご議論、皆さんの地区でご議論いただきたいポイントかなというふうに思います。

あと、数値的には、高齢者の方で徐々に上がっていくわけですけども、60歳から80歳代での違いは若干ございますが、半数近くがこのモニターアンケートをもってしても半数近くあるということは、まあこんなものかなというところで、やはり特に若年、特に35歳から50歳の間に女性というところを、まずどうお考えいただくあたりで、ご近所様、おつきあいの中で、またご議論いただきたいなというふうに思います。

それと回答率、よそのとことの比較ですけども、これもちょっと調べていただいた

んですが、やはり当然かなと思うんですけども、この近辺では福島区が46.7%という肯定的な回答割合なので、西区より10%高いんですね。あとは天王寺区も43.4%と出ております。都心部でいいますと、北区が40.1、中央区が43.0ですので、浪速区も40.2と出ておりまして、西成区も36.7ですので、ちょっと有意に低いかなという感じがいたします。さあ、どこのせいなんだろうというか、犯人探しをするわけじゃないんですけども、その辺もちょっとご議論いただければなというふうに思っております。モニターのそのものにつきましても、ご疑問があれば課長さんで答えられるかどうかわかりませんが、また大阪市全体の調査ですので、どれだけ反映できるかもしれませんが、西区独自のやり方等もあるかと思しますので、ご意見いただければと思います。

あと一点知りたいんですけど、西区独自で1,500ほど別途という話、ちょっとちらっとお聞きしたの、これは何やったんですかね。

(谷本きずなづくり課長)

2回アンケートを実施しておりまして、1回目は24区統一のアンケートでございます。設問が統一で24区がやっているアンケート、それから冬場ぐらいにやってますアンケートについては西区独自のものでして、特に運営方針とかに関わる評価をいただくのに、今回も用いていますけれども、そういうのをとるためとか、そういった意味でのアンケートを冬場に一回やっております。

(水内議長)

そうしたら、この全体のアンケートと西区が独自でするアンケートの回答率もやっぱり違うわけですか。

(谷本きずなづくり課長)

大きく違います。同じような回答率でございます。

(水内議長)

やっぱり低い、回答率は低いんですか。

(谷本きずなづくり課長)

先生がお持ちの資料は、24区統一でやったアンケートでございますので、先ほどの数字のとおりなんですけれども、もう一度冬場にやっているアンケートというのは各区ごとにやっていますので、ちょっと比べにくいところもございます。

(水内議長)

それはどこの区でも各区ごとにそういう独自アンケートをやるというのは、そんな方式なんですか。

(谷本きずなづくり課長)

やってる区とやってない区がございますが、必ずやっているわけではないです。

(水内議長)

なるほどね。できれば、そのアンケート用紙も実はあれば、もう少し議論できたのかなと思いますけども、またその辺、区役所の方にお聞きいただきたいと思います。

あとポイントとして、情報誌「にっしー」がなくなったということの中で、広報紙「かぜ」で動いてるというところでございますが、その「かぜ」の紙面の変化とか情報の出し方、割と薄いんですよ、西区の。薄いというのはその内容が薄いというのではなくて、8ページなんですけども、多いということのは何かかなりタブロイド新聞みたいに分厚いところもありますので、もうかなり区によって違いますし、中身も違ってしますので、その辺も含めましてご議論いただきたいなというふうに思います。「にっしー」の件も一応ありますので、その辺も含め、トータルでご議論いただいたらいいかなと思います。どのような手段でということも含めまして、子供を見てたら、まあちょっと区報を読めとは言えないなとかいうことも、あるいは、いやいやそんなことはないとか、誰が一番必要としてるのかとか議論、その辺をちょっとご議論いただければなと思います。

すみません。ちょっと差し出がましく、何回も質問しましたけども、これから 30 分ほど、皆さんの自由なご意見を課長の指揮のもとに進めさせていただきたいと思い

ますので、よろしくお願い申し上げます。

<会議中断>

(水内議長)

では、そろそろ各テーブルでご意見をまとめていただきたいと思います。各テーブルから課長の方でおまとめいただき、答えられるところは区役所の方で今ちょっとお答えし、それと地域振興会の笹倉会長、社会福祉協議会の笹野井会長からもご意見いただくという形で考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

<会議再開>

意外と盛り上がって、今までのグループディスカッションで一番いろいろと意見が飛んでいるんじゃないかと思いますが、ではまず、西船場・江戸堀・靱・明治のグループからで岩崎課長の方からちょっとお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(江原教育担当課長)

西船場・江戸堀・靱・明治の方、いろんなご意見いただきまして、まず「かぜ」について、例えば私立の病院置いていないということでした、例えば待っているときに結構見るんじゃないかな、そういうところに置いたらどうかというご意見がありました。

それから、その調査後のアンケートについて、ちょっと漠然としてるんじゃないかと、その届かない理由が内容なのか、西区の「かぜ」のことを言ってるのか、ちょっとわからないままに聞いているので、答える方も漠然と答えているんじゃないかなろうかと。例えば男女別であるとか、もう少し再分析をしていけば、原因がわかるんじゃないかというご意見がありました。

そういった中でも、例えば今申しあげた「かぜ」について、内容が非常に強弱を感

じにくいと、もう少しポイントを絞ったり、またどういった層をターゲットにしているのか、はっきりしたりとか、例えば漫画を入れたりとかインパクトを入れたらどうかというようなご意見がございました。またホームページについても、見たい情報になかなかとりつかないでありますとか、わざわざ見に行かないんじゃないかというようなご意見がございました。

ただ西区は、最近は若い層が増えていて、そういう若い層に訴えるということであれば、やはり Facebook とかの方がいいのではなかろうかというようなご意見がございました。もちろん、これを解決したからといって、果たしてこのアンケートの結果がよくなるかどうかというのが、やはり最初の原因がもう少しはっきりした方が深い議論ができるんじゃないかというご意見がございました。

それから、「かぜ」について漫画を入れるとかいうこともありましたけども、例えばイベントなんかはこういった表にしたりとか、要は見る方が読む方がもう少しわかりやすい工夫をすれば、また違うんじゃないかなろうかというようなご意見がございました。

以上です。

(水内議長)

ありがとうございました。

では続きまして、広教・西六・堀江・高台のグループお願いします。

(松谷子育て支援担当課長)

広教・西六・堀江・高台のグループの方では、まず LINE における情報なんですけども、いろんな情報が届いて、必要のない情報もその人にとっては来るので情報の整理が必要ではないかというご意見がございました。あと、広報記事に、広報紙についてですけども、全ての記事に QR コードをつけてもらった方がいいのではないかとというご意見がございました。

あともう一つは QR コードの関係なんですけども、西区が発信している行政情報と

か、そういうものも QR コードをつけて、行政情報の保存版的なものを作って配布してもらえたら助かるというようなご意見もございました。

モニターアンケートについてなんですけども、モニターアンケートが届いた委員さんがいらっしやいまして、その方はなかなかアンケートがわかりにくかったよというようなご意見がございました。あと、アンケートの設問内容についてなんですけども、こういうふうな内容でやりたいんですということで作っていただいて、事前に資料と同じような形で送っていただいたら、見て検討させていただきますというご意見がございましたので、またよろしく願いいたします。

(水内議長)

続きまして、日吉・千代崎・本田・公募委員のグループから、河合課長、お願いいたします。

(河合保健福祉課長)

日吉・千代崎・本田・公募委員のところを担当します保健福祉課長、河合でございます。活発なご意見をいろいろいただきまして、ちょっとまとめきれないんですけれども、まず大前提として全年齢に共通して有効な媒体とかはないので、やっぱりターゲットや年齢ニーズに応じた方法論を突き詰めていく必要があるということ。特に若い方は新聞をとる方が非常に少なく、広報紙も行き渡らないということですが、一方、子ども・子育てプラザなどで防災の話をしたり、いろいろすると、皆さん関心があって情報を求められている。例えば広報紙を希望者に配付してもらえるとというようなことを知らなかったというようなこともあって、そういう層にうまくターゲット合わせて情報を、そういった情報からまず届けていく必要があるのではないかというご意見がありました。

それから、それに関連して保育所とか幼稚園とか小学校とか、そういう小さいお子さんを持つ親御さんが行くような場所を通じて広報紙を配布するというような方法もあるん違うかと、あるいは親子のつどいの広場というのが区内で5か所ありますけれ

ども、そういうところに区役所から依頼すれば、例えばいろいろご意見聞いたりできるのかなというようなお声もありました。

ただ、アンケートは無作為でやっていることによって、実情が、無関心な状況も含めてわかるという部分もあるなというご意見がありました。

若い方については携帯とかを通じて LINE とかをよく使うんですけれども、自分の必要な情報しか取らないというようなことも指摘がありました。それから QR コードについては、こちらのグループではもう使わないというご意見が多くて、必要な情報があったら直接検索する。まどろっこしいのでというようなことでもご意見がありました。

一方で、やっぱり年齢層によっては、紙媒体を非常にじっくりといろんな情報を総合的に見られるので必要で、無くさないでほしいというご意見もありました。

先ほどの災害の情報もあったんですけれども、やっぱりいつもテーマになる町会の加入なんかも関連するんですけれども、防犯とか防災に関心が高い子育て層などに地域によっては、防犯カメラの設置状況を連合の取り組みとしてお知らせしたり、防犯灯のことを知っていただいたりということ、こういうことも必要なんじゃないかというご意見がありました。

あとはちょっとあったんですが、区の広報板は見ないけれども、マンションの掲示板はよく見るとかいうご意見があったのと、おもしろかったのは広報紙とかホームページもそうなんですけれども、西区の中にはいっぱいスーパーがありますけれども、例えばクーポンをつけるとかそういうことをすれば非常に関心を持って見ていただけるんじゃないかというようなおもしろいご意見がありまして、そういう企業のタイアップとか戦略へもうまくしていけば、おもしろいことができるん違うかというようなご意見をいただきました。すみません、3班でまとまりましたのは以上でございます。よろしくお願いいたします。

(水内議長)

最後に九条東・南・北と公募委員のグループをお願いします。

(谷本きずなづくり課長)

九条東・九条南・九条北、それから公募の皆様のご意見でございます。現在の区役所の情報発信に係るご意見、評価等につきまして、西区は若い世代が増えてきていますが、若い方は必要がなければ、あえて情報を取りに行くとか見たりはしないのではないかと思います。必要になれば自ら情報は取りに行くだろうし、また区役所から必要な情報は適切に届いているという声も聞いているという発言もいただきました。どちらのグループからもでていますが、やっぱりそういうところはあるように思います。

区役所の方向性として、紙媒体を活かしつつ電子媒体に力を入れるということには、おおむね賛成のご意見をいただきました。QRコードを利用することで、より詳しい情報が手軽に見れるということについて、まずそのQRコードが載っている紙媒体などを手にしないとそこに至らないわけですし、広報紙につきましては新聞折り込みかポスティングの登録をしていただければ届くのですけれども、ポスティングの制度を知らない人がいるということでした。

新聞をとってらっしゃる方がかなり少ない状況で、ポスティングの制度を知らない方がたくさんいるのではないかと思います。

ここはなかなか難しいところですが、情報を届けること、情報を手に入れるということについても、地域やマンションの中に知り合いがいるなどつながりがあればより効果的ではないかというようなご意見もありました。

アンケートについては、いろいろご意見をいただきまして、他の地域からも出ていますと思いますが、まずアンケートの取り方とか分析の仕方については、もう少し精査する必要があるのではないかとのご意見を頂きました。

それからアンケートの結果について、24区の中の回答率ですとか、届いているということを感じている率とか数字はあるんですけれども、その区が実際にどんな形の情

紙を発行しているのか、あるいは情報誌の中身はどういった形態になっているのか、そういったところとの分析とかもしていく必要があるのではないかというご意見もいただいております。

またアンケートの多言語対応ですとか、アンケートの趣旨説明だとか、そういう配慮はもっと必要じゃないかというご意見もいただきました。

以上です。

(水内議長)

ありがとうございます。たくさんのご意見をいただきました。区役所の方からご意見に対して、お考えをとということからと思うんですけども、私的に区役所さんにお答えいただくポイントとしては、ちょっとこれ、アンケートそのものの問題にもあって、一つは区の独自もございますし、それから市の全体もございますが、その内容について、事前にある程度見るなりして、これが区のいろんな評価につながるんだろうということ为例えばこの区政会議でもちょっとお知らせいただくなりしてご意見をいただいてもいいんじゃないかというところと、逆に言うたら分析というのをもうちょっと深めてもいいんじゃないか。

要するに比較とか年齢別とか男女別とかいうのをもうちょっとやっていただければ、必要とする人のターゲット層というのがわかってくるんじゃないかなということ、その辺ちょっとご工夫いただきたいのが1点目かなと思います。

それから2点目につきましては、情報戦争の情報がどんどんどんどん更新されていきますので、何がええかというのは本当によくわからない状況になっておりますが、ちょっとLINEとかQRコードも出ましたが、さまざまな情報媒体があります、何件登録されているのか、取り組みの実態を知らせていただきたいのと、いわゆるツイッターTwitterとか新しいいろんな媒体に関して、区役所さんの方でどのような取り組みをしているのかを、改めて皆さんにご紹介いただきたいなというふうに思います。

3点目は多分いろんな場所を利用して直接ご本人に手渡しするだけじゃなくて、さま

ざまなサービス拠点、区役所に関わるサービス拠点、あるいは市立病院とか区役所、西区にお住まいの方、利用されている方の目につきやすいところにもう少しそういうのを置いていくと、それをきっかけに必要とするという方も増えていくというご意見も結構出ておりましたので、その辺、配布場所についてもちょっと今の現状と今後の考え方について、ご紹介いただければいいんじゃないかなという感じはしております。

最後にどうしてもやはり欠かせない層というのが、やはりこの紙媒体のこういう区の情報誌にあるかと思いますので、やはりここは欠かせないよという意味で子育て層、高齢者とか、その辺にメリハリをつけた工夫、編集のあり方もあるんじゃないかなということと、若干、多言語対応も住基は最近外国人も全部入っておりますので、多言語対応も必要じゃないかなということ、セーフティネットとしての個々の役割です、その辺もご指摘いただいたかと思います。

ちょっと荒っぽく5つにまとめましたけども、その辺、区の方にお考えいただきたいと思います。その後、笹倉会長と笹野井会長からもご意見いただきたいと思っておりますので、まず区の方からよろしくお願い申し上げます。

(森本事業調整担当課長)

それでは、なるべく簡単にお答えをさせていただきたいと存じます。広報を担当しております事業調整担当課長改めまして森本でございます。

まず1点目、アンケートそのものの問題ということで、あるいはその分析の仕方の問題、ご指摘ございました。アンケートにつきましては、今年度内にもう一回、区の独自の調査の方でやり直しをさせていただきたいということも考えておりますので、十分に今日いただいた意見を踏まえまして、練った上でやらせていただきたいと思いますし、場合によっては区政会議の皆様にも事前に見ていただくというふうなことも、皆様のお手間もございすけども考えていきたいなというふうに考えてございます。分析につきましても、当然アンケートするときにそれぞれの男女の属性とか住まわれている地域の属性とかいうことも当然データとしてはとっておりますので、その辺のクロス分

析、手法についてもちょっと勉強してまいりたいなと考えてございます。

2 番目、情報が更新されるという状況の中で、LINE や QR コードのお話しをいただきまして、その SNS の実績についてのお問い合わせがございました。

ちなみに本日も冒頭申しあげましたように今区役所では、LINE、Twitter、Facebook と大きくはこの 3 本柱の SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を使っておりますけども、まず LINE については登録者数が 4,200 名、Twitter については 2,000 名弱、Facebook については 800 人弱という数字になっております。これも冒頭申しあげましたとおり、この使い分け、機能が若干違うというところもありますので、この使い分けについて区役所としてもちゃんと整理をした上で、よりその機能に応じた活用ができるようなことは考えてまいりたいというふうに考えてございます。

次に 3 点目、サービスの拠点ということについてご指摘を頂戴いたしました。1 つは、実は区役所広報サポーターという制度を設けておりまして、現状で言いますと区内の事業所、あるいは飲食店店舗等に、これ今 223 カ所でございますけども、そういった事業所なり店舗についてはご協力を頂戴いたしまして、この広報紙「かぜ」はもちろんのこと、いろんなポスターやチラシも設置をいただくというようなご協力をいただいております。マンションにつきましても、今区内に 4,600 棟ぐらいのマンションがございますけども、そのうち 105 棟については広報紙の配布をマンションでしていただけるということで管理組合さんの方にもご協力を頂戴しているというところでございます。

ただ、ちょっと私も聞いててショックやったのが新聞折り込み以外で、例えば新聞をとっていらっしゃらない方については、区役所にお申し込みいただければ、我々ポスティングと言っているんですけども、直接そちらにお送りするような制度ございますけども、今聞いておりましても知らないという方も非常に多いというようなこともお聞きしましたので、ここやっぱり我々がそういう事業をやっているということが

周知不足であることは、もうこれはっきりしたと思いますので、その辺何とかさらに周知を深めていく、広めていく手だてについて考えてまいりたいというふうに考えております。

4つ目に欠かせない層ということで子育て層とか高齢者の方々、特に紙媒体を必要とされてるという方も当然いらっしゃると思いますので、片やSNSについて試行をしながらですね、一方でその紙媒体の活用ということも十二分に考えていきたいと。例えば今、区役所もあくまで担当者内での議論なんですけども、さっきQRコードについて使うべし、あるいはもう要らんと、やっぱりいろんな意見もあったようでございますけども、若い方々、子育て層に関しては、なるべく表題だけ書かしてもらってQRコードで詳細見てくださいということでやりまして、余った紙面は高齢者の方々とか紙媒体を中心に見ていただける方に紙面をよりよくたくさん割くというようなことも考えられるのではなかろうかというような議論も中ではございます。

こういったことでいいのかどうかというようなことも踏まえながら、今日のご意見も踏まえながら、そういう広報紙の改良について今後とも検討を続けてまいりたいというふうに考えているところでございます。

雑駁ですが、以上でございます。

(水内議長)

ありがとうございました。ここでまず笹倉会長、それから笹野井会長にちょっとご意見とかご感想とかご進言とか、この辺ご意見賜ればと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

(笹倉地域振興会会長)

こんばんは。普段地域振興会の活動にいろいろご協力賜っておりまして、ありがとうございます。

先ほどいわゆる市の、区の区政に対する広報、情報発信の問題です。もう皆さん、大体もう問題点を言われておりますので、ほとんど私の方から特に目新しいことは、

ちょっと何も思いつきがないわけですがけれども、ちょっと市の方に区の方にお聞きしたいんですけど、この情報発信、いわゆる広報の予算って今何ぼ、どのくらいあるんですか。

(森本事業調整担当課長)

予算は1,000万円強でございます。

(笹倉地域振興会会長)

1,000万円ですか。

(森本事業調整担当課長)

強です、はい。広報紙の。

(笹倉地域振興会会長)

ここずっと大体同じ金額ですか。

(森本事業調整担当課長)

ほぼ同じで推移しております。

(笹倉地域振興会会長)

そうしたらその中で具体的に、ほんなら例えば「かぜ」にどの程度で大体具体的にありますが、予算わかりますか。

(森本事業調整担当課長)

はい。ちょっと個別の数値は記憶しておりません。

(笹倉地域振興会会長)

印刷製本の関係、やっぱりほとんどが「かぜ」の予算じゃないんですか。

(森本事業調整担当課長)

印刷製本のほかに、あと実はデザインを委託しています。

(笹倉地域振興会会長)

ああ、デザインやな、はい。

(森本事業調整担当課長)

ということもしておりますし、あとは先ほどから出ておりますポスティングですね、1つ新聞折り込みに係る経費がございます。それに加えて、申し込みいただいた方にはポスティングをするという、大きくその4本の予算組みになっております。それぞれの金額というのが今手元にございませんで申し訳ございません。

(笹倉地域振興会会長)

いや、具体的数字はいいですけど、いろいろとご意見に出ている内容は全てかなり予算を伴う事業だと思うんですよ。だからそれを皆さんのご意見のある程度吸い上げてやっていただくには、すぐに予算増額をやっていかなあかんのちゃうかなというように思いますので、何とぞそこら辺をお願いいたしますわね。

地域振興会が会議、地域振興会を通じて各連合振興町会の方にいろんな市の情報を全部下ろされますな。そこから各連合の方は町会内に、班の方にまで掲示板やって、今広報活動を協力しているわけですが、これも1つの大きな情報発信のお役に若干立ってるかなというようには思ってますが、ちょっと余りそういうご意見が出ないので、あえて私ども地域振興会の会長としてちょっと、区の方はおわかりになっていと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

(水内議長)

では、笹野井会長、お願い申し上げます。

(笹野井社会福祉協議会会長)

社協会長の笹野井です。私も、この資料送ってもらったものをちょっと読ませてもらって、その方面、この全体的なもので話させてもらっていいんですかね。

(水内議長)

はい。

(笹野井社会福祉協議会会長)

今皆さんの意見をたくさん聞かせてもらってね、まず私は先に送っていただきました資料を読ませていただき、ただいま資料の説明もいただきまして、私なりに行政の

取り組みにご意見を述べさせていただきたいと思います。

まず戦略の1－1、4－3までは、今行政と地域が掲げています重要課題だと思います。希薄化といわれる人と人とのつながり、誰もが安心して生き生きと暮らしていけるまちづくり、そして地域課題の少子高齢化、児童虐待防止法と福祉法の改正、あるいは災害では専門家の間では30年間のうちに必ず起こると言われる南海トラフに向けての災害に強いまちづくり、それから障がい者の皆様が安心して暮らせる、就労していける地域活動の場、また今たくさん出ました、またマンションの皆さんとのコミュニティは地域と行政が一体となって取り組んでいかなければならない、西区にとって大きな課題だと思います。地域も各連合ごとに思案していられるのではないかと思います。

2番の4－1、41%とありますが、地域への要望も十分にお願ひしたいと思います。資料の中では西区モニターアンケートを行い、多様な意見やニーズの把握に取り組んでいるとありますが、前項にありましたように行政としてもう一步踏み込んだマンションコミュニティの活性化を地域再生として、いま一度最善策を検討していけたらと感じております。

このことを含め、今後社会福祉協議会としましても皆様とのきずなをより一層深め、行政が進めてられます課題に協力をしていけたらと思います。

今日の会議を含め、行政サイド、地域サイドともに人それぞれのお考えは、私あると思います。当然ですが突き詰めてたどるところは誰もが安心して暮らしていける我がまち、西区の将来を案じ、地域の活性化を願っていられるのではないかと思います。今後の取り組みと方針、委員評価シートの結果を踏まえ、行政として地域が直面します多くの課題に支援、また協力をお願いしたいとのニーズにこたえ、地域との連携強化にさらにお力を注いでいただきたいと思います。後から話があると思いますが、教育については未来ある子どもたちのために西区教育会議を初め、あらゆる方面からご意見を集約して、社会を生き抜く力の養成を身につける教育に徹していただければ

と思います。社会福祉協議会もコミュニティ強化をはじめ、地域との交流をモットーに今以上に信頼と信用をいただけますように職員一同心に念じ、日々邁進していきたいと思いますので、ご尽力のほどよろしくお願い申しまして、私の意見とさせていただきます。ありがとうございます。

(水内議長)

ありがとうございます。ちょっと補足なんですけども、ちょっと先ほど僕、ほかの区のモニターの回答率誤って言ってしまったんですけども、西区が29.6%という回答率なんですけど、浪速区が21.2%、西成区が25.8%でございます。

これ結局、北区や福島区や中央区、天王寺区はちょっと高いんですけども、どちらかというと単身の人たちの増加率がすごく激しいところで、当然の結果かなという感じもするわけです。なので、結局そういう方々にお答えいただいてないということも十分考えられるので、その意味では市全体の調査なんですけれども西区に上乘せ調査するんであれば、もうちょっと必要とするターゲットというか数の問題もちょっと500、600って数字が、果たして年齢別とか男女別に分けてしまった意味があるのかというところがあるので、直ちにとは言いませんけれども、アンケートの仕方で、もし西区で独自でやれるような余地があるのかどうか、しかもこれ区政の評価につながるものですので、ある程度ちょっと金をかけて分析してもいいんじゃないかなということと考えられますので、ちょっとその中身についてはもうちょっと考えていったらいいんじゃないかなというふうなことをちょっとつけ加えさせていただきたいと思います。

あと多言語対応についてなんですけれども、隣の浪速区さんは来年度の成人式を迎える方が700人おられるそうですけども、その中で外国人が330人ぐらいになるということで4割、45%が外国人になるということになってるそうです。ある小学校では4割がもう中国人であるというような小学校も出てるということで、もう多言語対応は必須であります。共益費とか町会費という概念も中国人の方にはございません。ましてや町会もございませんので、この辺をどう説明するかということで、担当課はか

なり頭を痛めておられます。西区ではそこまでは至らないと思いますけども、先ほどもこちらのテーブルでちょっと外国人のお話も出てきましたので、そういうこともきっかけに、アンケート自体に答えられへんということもございますので、いろんな何ていうんですかね、手を加えていくことが発生していくかと思いますので、また今後ともこの辺は注意深く、皆さんもご意見をいただき、改善に向けて区政評価の元がしっかりと確認できるようにアンケート内容などもまた見させていただければいいんじゃないかなというご意見もありましたことで、またよろしくお願い申し上げます。ちょっと追加でコメントさせていただきました。

時間の方ももう少しなんですけども、また区役所の方で別にご報告がございますので、この辺、江原課長の方から第2回教育会議の要旨について、ご意見いただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

(江原教育担当課長)

改めまして、教育担当課長の江原です。

それでは、資料4を見ていただけますでしょうか。

今年の2月20日に30年度第2回西区教育会議が開かれました。そこでは主に31年度の西区教育施策案、これは予算案になります。

そして学校配置の適正化、これは児童数の急増に伴って学校の狭隘化を回避する手段として、堀江小学校分校設置と中之島西部地域小中一貫校設置についてご議論いただいております。

ページめくっていただきますと、2ページから3ページにかけまして1点目の教育施策ということで、非常にたくさん項目が並んでございます。シーリング等ございまして、ほぼ軒並み減額とされておるんですけれども、減額の中でも何とか工夫しながら、しっかりそれぞれ事業をやっていくということでご質問の中で、区役所としてはこの教育施策の中でこういったことを重視していくのかというご質問がございまして、これについては特にこの中では学校からの特に要望が強い2ページの一番上にござい

ます発達障がい等サポート事業ですね。これについていろいろ予算厳しい中でも何とか現状の予算をキープしてやっていきますというようなお答えをさせていただきます。

次のページ、めくっていただきますと、4 ページです。学校配置の適正化についての1 つ目、堀江小学校分校設置についてでございます。堀江小学校の児童数急増に伴って、堀江中学校もたくさん児童数ございますので、今現在の西高校が統合して再編後、敷地があきますので、その跡に堀江中学校が全面移転するのと、もう一つは堀江小学校分校を開設する方向であると。しかもこの分校については新たな学校をつくるという考え方もありますし、学年で分けるという考え方もあるんですが、メリット・デメリットを考えながら最終的には、現在のあみだ池筋を境界としまして、地域分校を東西に分けてするということを基本としていこうということで、ご議論をされておりました。

もう一つは、もう1枚めくっていただきますと、6 ページになります。これにつきましては、中之島西部地域小中一貫校というものです。これは西区で言いますと、西船場小学校、それから花乃井中学校、この2校が児童生徒数が急増しております。これを緩和するために隣接している中之島の地域に小中一貫校を設置しまして、児童急増を緩和しようと、そういう対策でございます。こちらについても令和6年以降に設置をしていくということで進んでおります。そういったことについて、いろいろご議論をいただきました。またご質問の中で、中長期的にはこういう対策をしているんだろうけれども、目の前、すぐ来年であるとか当面の対策はどうかというご質問がございましたけれども、これについても早い段階から手を打って校舎の増改築等も含めて対策をしていくというふうにお答えしております。その下の、この今申しあげたことを予算化した予算額を書いている資料でございます。

そのほかに、ちょうどこの時期に大阪府が携帯電話を学校に持ち込むことについて、ルールをつけて解禁するというような方針を出してありましたところから、大阪市はどうするんだというご質問がありまして、その時点では、まだ大阪市の方針は決まっ

ていませんということでお答えしております。今日も大阪市教育委員会の担当に電話したんですが、まだ方針のことについてはいろいろアンケート等を取りながら、最終的に検討していきますというお答えでございました。

非常に簡単ですが、2月20日に行われました西区教育会議のご報告を終わります。よろしく申し上げます。

(水内議長)

いろいろと激変というか変化が激しい中での教育関係のご説明でございましたが、何かご意見ございますでしょうか。

これ西六と堀江について、そのあみだ池で分かれた場合にPTA組織とか何かそれはやっぱり分かれるんですか。

(江原教育担当課長)

今の案で分校ということですので、基本は分かれるはずです。

(水内議長)

多分そういうことかなと思うんですけども、そうですね、中之島との関係で言いますと、西船場の校区的に区を越えて通学するというようなことは起こらない。

(江原教育担当課長)

これも詳細はこれからなんですけれども、例えば隣接してますので、今大阪市内で小中一貫校を建てる時は全市募集ということで、その中で例えば近隣の地区について例えば福島とか隣接してるところに少し優先枠をつけるとか、そういうような検討をされるようです。

(水内議長)

選択も可能なんですか。

(江原教育担当課長)

はい、もちろんです。

(水内議長)

そうですか、なるほど。ちょっとこれも大きな動きかなというふうに思われます。
いかがでしょうか。あと新しい高校につきましては、これは中之島に建つということ
ですかね、教育系の専門学校を要する新高校というのは。

(江原教育担当課長)

高校については、場所はここではございませんでして、西区でもございません。

(水内議長)

西区的には、高校がなくなることに关してはそんなに気になされていないというか。

(江原教育担当課長)

高校のないところは、その校区だけではございませんので、違うところに行っても
通えることは通えますので。

(水内議長)

いろいろとね、OBとかOGの方おられるので、その辺若干、いかがでしょうか。
いろいろと児童数の推計も出ておりますし、4ページのところでもピークが平成39年
あたりがピークというような推計になっておりますね、令和9年。あと七、八年はまだ
子どもの数が増えるという推計で書かれてますし、かなり増えるのでということで
ございます。こういうこと考えましても区報とか何かはやっぱこのソコ中心に行き
渡るようにするということが、大前提かなってなんかちょっとしたりしますが。

もし意見がないようでしたら、もうこれで終わりに、私の役割は、議事進行は終わ
らせていただきたいんですけれども、先ほどちょっと区報の置き方なんですけども、
ちょっとお答えが終わらないんですけども、例えば開業医さんとか市立の医院さんで、
私の病院に区報を置くことはできるんですか。「かぜ」を置くことができる。要する
に、なかなか主婦という層も少なくなってきたおる現在において、やはり時間的にど
うしても待ち時間生じてくるのは医療施設とか、その辺でいろんな方々のニーズをつ
かまえると考えると、その辺で保育所も含めてですけども、これは置けるんですか。

(森本事業調整担当課長)

まず現状置いている病院で置かせていただけたところございます、現に。だから相手さんのご了解いただければ、当然置いていけるということでございます。

(水内議長)

そうですね、歯医者さんとかその辺いっぱいありますので、ちょっとでも置いておいたら、ちょっと手に取ってみてやられる方、あらゆる階層の方が行かれると思いますので、そういう意味では余り無理せずにいろんな方に見てもらえるのは医者かなというように思いますので、その辺していただけたらと思います。ここらは当然ね、いろいろとあると思うんですけども。

(吉田委員)

すみません。広報紙について、昔、郵便局に置いていらっしゃったのがね、今ないんです。

(水内議長)

郵便局に置いておられたと、今ちょっとご意見いただいたんですけども、郵便局も結構待ち時間、まあ銀行もと言いついたら、キリがないんですけども。

(吉田委員)

まあいろんな人、来られますのでね。

(水内議長)

うん。いろんな人が来るという意味では、そこをターゲットにするの一番いいんじゃないかなと思いますけどね。

(森本事業調整担当課長)

説明不足ですみません。現に郵便局の方にも置かせていただいています。

(吉田委員)

だから、置かなくなった理由が何かと思うんですけど。

(森本事業調整担当課長)

なぜ置かなくなったか。

(吉田委員)

そうそう。

(森本事業調整担当課長)

ちょっとその辺も今にわかに把握できておりませんが、確認するようにさせていただきたいと思います。

ありがとうございます。

(水内議長)

お金も結構使ってますし、どんだけ回せるかどうかわかりませんが、なるべくいろんな方が出入りしてストレスなく手に取ってもらえるのはそういうところだと思いますので、その辺開拓されるのが一つ重要なというふうに思いますので、またこの辺ご検討の結果、次回にでもまたお知らせいただければと思いますので、よろしくお願い申しあげます。

(森本事業調整担当課長)

検討させていただきます。ありがとうございます。

(水内議長)

ほかにございませんでしょうか。こんなところ置いたら良いというようなご意見とかありましたら、また。まあ保育所もいいとは思いますがね。

なければ、そろそろ時間参りましたので、私の役目はここで終わらせていただきたいと思います。

議事進行にご協力いただき、お礼申しあげます。

では、森本課長にバトンを戻します。

(森本事業調整担当課長)

水内議長、議事進行どうもありがとうございました。

本日は活発な意見交換及び円滑な議事進行にご協力を賜りましたこと、まことにありがとうございます。

まだまだご意見を伺ってまいりたいところでございますが、時間も参っております。
ここで岸本区長からご挨拶を申し上げます。

(岸本区長)

今日は、いろんなご意見賜りまして、本当にありがとうございました。区政の情報をどう伝達するかというのは非常に古くて新しい問題でありまして、本当に永遠の課題というようなところもございます。ただ、今一番やっぱり大きなトレンドとしては、電子媒体の活用というのは、やはりこれは必須でありますので、いずれはその方向にもう軸足を大きく移していくということになるというふうに思っております。ただその過程におきまして当然行政でありますので、ニーズがある限りは紙媒体の必要性もございますので、それはそれとして取り組んでまいらなければならないと、こういうふうに思っております。

冒頭でもちょっと申しあげましたけど、例えば事件が、きのうもございましたけれども、こういった事件があった場合に LINE 登録していただいたら大阪市から危機管理の情報で、今こんな事件ありましたというのがぱっと皆さんのスマホに届くというふうな、そういう便利な面もありまして、LINE 登録なんかはもう是非若い層を中心にすることは思うんですけども、是非広げていきたいというふうにも思っております。

それからあと、ポスティングもまだまだご存じないこともあるということですので、これも引き続き周知に努めていきたいというふうに思います。また QR コードの話ありましたけれど、これ P R につきましては新規に住民になられた方に転入者パック（暮らしの便利帳）というのを渡してるんですけど、その中に LINE の友達登録を P R する紙を確か入れてまして、それで登録を促しているつもりではあるんですけど、なかなかそれが人口増に比例して反映されていないというようなところもあって、その辺も課題なのかなというふうには思っております。

区役所、市も含めて施策、本当にいろいろやってるんですけども、なかなかこれが十分に伝わっていないというのは、やはり区民の皆様、今日も初めそうですけども、

お聞きしてて我々も非常に歯がゆい思いをしているところでもございまして、今後ともできる限りのことをやって、皆さんに周知を図っていきたいというふうに思います。

それからあるテーブルでもちょっとご意見出てましたけども、情報の入手もこれは自分だけということじゃなくて、いろんな人とのつながり、コミュニケーションの中で入手するというのも、これ非常に重要なことだというふうに思います。区内にはPTAとか子供会とか、あるいは青少年団体とか高齢者の団体、それから連合振興町会とかそういう団体があるわけですので、そういうところの人のつながりを介してもいろんな情報が伝えられればなというふうに思っております、地域のきずなづくりということで今私どももご支援を申しあげてるところでありますけども、そういった形でも是非情報チャンネル広げていきたいというふうに思っております。また今後とも皆さん方のご協力是非よろしくお願い申し上げます。

それでは、本当に今日はどうも長時間にわたりましてありがとうございます。お疲れ様でございました。

(森本事業調整担当課長)

改めまして、長時間にわたりご討議賜りましてありがとうございます。

本日頂戴いたしましたご意見やご提案につきましては、一旦整理をさせていただきます、後日各委員あて書面でお知らせをさせていただきます。また、本日の会議の内容は、西区のホームページで後日公開いたします。次回の日程でございますが、会議としては、新年度の予算や事業を計画する段階、11月ごろに考えてございます。またお知らせをさせていただきたいと思います。

最後に時間が参っている中、大変恐縮でございますが2点お願いがございます。

お手元のクリアファイルをご確認いただけますでしょうか。その中に、まず「令和元年度区政会議委員アンケート」が入っております。これは全委員にお配りしております。

もう一点、冒頭も申しあげました資料2、30年度の区政に関する区政会議委員の評

価シートでございますが、これにつきましては、まだご提出をいただいていない委員の方のみ入れさせていただいております。これらにつきましては本日お持ち帰りをいただき、後日ご記入の上、返信用封筒にて郵送いただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。よろしゅうございますか。

それでは、これをもちまして令和元年度第1回西区区政会議を終了いたします。

どうもありがとうございました。